

# 公募制

**募集人員** 全体で65名

**出願資格**

下記のいずれかの条件を満たす者。

- ① 高等学校または中等教育学校を2024年3月卒業見込みの者で、第3学年1学期までの全体の「学習成績の状況」が3.0以上の者。
- ② 高等学校または中等教育学校を2023年3月に卒業した者で、卒業時の全体の「学習成績の状況」が3.0以上の者。

**選考方法**

- ① 小論文
- ② 面接

※出願時に自己推薦書(400字以内)を提出

**試験時間割**

小論文 13:00~13:50  
面接 14:20~

**出願期間**

2023年  
11/1(水)~11/6(月)

**試験・試験場**

2023年  
11/17(金)  
日本大学工学部

**合格発表日**

2023年  
12/1(金)

**入学手続締切日**

2023年  
12/18(月)

※他大学との併願可。ただし、日本大学の他学部の全ての入学者選抜方式との併願は認めません。

## 小論文試験過去問題 (3カ年分)

志望学科の課題について、所定の本原用紙(600字)を使って論じなさい。字数は600字にできるだけ近く、それを超えないようにしてください。

	2023年度	2022年度	2021年度
学科名	課 題	課 題	課 題
土木工学科	道路、鉄道、上下水道といった社会インフラは、人々の安全で安心な暮らしを支えています。そこで、あなたが興味のある社会インフラの一つ挙げなさい。そして、興味をひかれる理由と、あなたがその社会インフラの向上に貢献するには、土木工学科でどのような知識を身に付ける必要があるか、あなたの考えを具体的に述べなさい。	土木工学の分野において、あなたが関心を持っている問題の一つ挙げ、その理由を述べなさい。また、その問題を解決するためには、大学でどのようなことを学び、将来どのような仕事に就きたいと考えていますか。あなたの考えを具体的に述べなさい。	近年、地震や豪雨などの自然災害が人々の暮らしに大きな影響を与えています。これらの災害から人々の暮らしを守るために、土木工学はどのような貢献ができると思いますか。あなたの考えを具体的に述べなさい。
建築学科	建築は、人の生活の場を創造する学問であり、構造、材料、計画、環境、設備、歴史、意匠、都市計画などの様々な分野から成り立っています。これらの中で、あなたが興味のある分野を挙げ、その理由を述べなさい。また、将来どのような職業に就きたいかについて、あなたの考えを具体的に述べなさい。	産業部門において、建設業は製造業に次いでエネルギーを消費し、その過程で二酸化炭素を大量に排出しています。これからの地球環境を考えると、建物を造ったり都市を開発したりするときに必要とされる材料や技術はどのようなものであるべきでしょうか。あなたの考えを具体的に述べなさい。	日本の国土は、地震、台風、大雨などの自然現象により、水害や土砂崩れなどの災害に何度も見舞われてきました。これからの日本社会は、人口が減少し、地域における高齢者の占める割合が一段と高くなります。このような社会を迎えるに当たり、従来とは異なる視点から防災対策を考える必要があります。これから建築に携わろうとするあなたは、どのような防災対策を提案しますか。あなたの考えを具体的に述べなさい。
機械工学科	世の中には様々な機械や装置があります。未来には今よりも便利な機械や装置が生まれるでしょう。あなたが考える未来の機械および装置の一つ取り上げ、その実現のために、機械工学科で何を学ぶ必要があるかについて、あなたの考えを具体的に述べなさい。	地球温暖化対策として導入されている再生可能エネルギーによる発電は、太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなどの非化石エネルギーを資源としています。この中からエネルギー源の一つ取り上げ、選んだ理由と、そのエネルギーによる発電にはどのような機械工学の技術が使われているかについて、あなたの考えを具体的に述べなさい。	自動車、新幹線、船舶、飛行機、ドローン(小型の無人飛行機)、ロボット、風力発電は、機械工学の技術が使われた機械です。この中で、あなたが興味のある機械はどれでしょうか。興味をひかれる理由と、その機械にはどのような機械工学の技術が使われていると思うか、あなたの考えを具体的に述べなさい。
電気電子工学科	LSI や LED などの半導体は、人々の暮らしに大きな変化をもたらしました。半導体により性能や機能が大きく進歩した身近な電化製品を挙げ、それがあなたにどのような影響をあたえているか説明しなさい。また、半導体の進化によって、将来どのようなことができるようになるでしょうか。あなたの考えを具体的に述べなさい。	地球温暖化対策のため、CO <sub>2</sub> の大幅な排出削減が世界的に求められています。電気エネルギーや電子情報通信といった電気電子工学の技術は、低炭素社会の実現にどのように貢献すると思いますか。技術の内容を具体的に説明するとともに、その有用性について、あなたの考えを述べなさい。	電気電子工学科で学ぶことのできる専門知識は様々な社会基盤や産業を持続可能にし、人々の暮らしの維持や向上に役立っています。あなたが実際に経験した電気電子工学に関する出来事の中で、特に印象に残っているもの一つ挙げ、その理由を含め、体験内容を具体的に述べなさい。
生命応用化学科	化学は、新しい化学反応によって、新しい分子や物質を創り出したり、不要なものを分解処理することで社会の発展に貢献してきました。これからの人類の持続的な発展のために必要な「夢の化学反応」とはどんなものでしょうか。あなたのアイデアを具体的に述べなさい。	私たちの身の回りには多くの製品材料の多くは、自然界にその状態では存在せず、化学技術で人工的に創り出されたものです。あなたが興味のある材料の一つ取り上げ、その材料の特徴、用途、問題点などについて、興味をひかれた理由とともに、あなたの考えを具体的に述べなさい。	化学は物質の機能を明らかにし、新しい材料を創り出すことで人類の生活を豊かにしてきました。これからも人類が発展していくためには新しい化学技術が必要となるでしょう。そのような「未来の化学技術」について、あなたの考えを具体的に述べなさい。
情報工学科	最近、小学校から大学の教育現場では、様々な情報技術が導入されています。このように情報技術が活用された教育現場における、あなたが最も気になる課題の一つ挙げなさい。また、その課題を解決するための方策について、あなたの考えを具体的に述べなさい。	最近、人工知能(AI)の技術は、様々な分野で活用され始めています。現在の社会情勢を考慮し、十年後の社会ではAIの技術はどのように活用されていると思いますか。あなたの考えを具体的に述べなさい。	近年、多くの国で少子高齢化や新型コロナウイルス感染症などが社会問題となっています。そこで、医療や介護の分野が抱える課題の一つ挙げ、その課題を解決するために、情報技術はどのように貢献できるか、あなたの考えを具体的に述べなさい。